会議録 (要点筆記)

会議録(要点筆記)		
会 議 名	令和4年度 第3回米原市社会教育委員会議	
開催日時	令和5年2月27日(月)午後7時00分~午後8時30分	
開催場所	米原市役所本庁舎3階 会議室3-A	
出 席 者	出席者:大谷委員長、上田副委員長、谷口(嘉之)委員、谷口(絹代)委員、	
	川﨑委員、日置委員、田中委員	
	事務局:生涯学習課 平山課長、中村補佐、北村主事	
	欠席者:塚田委員、金澤委員、冨田委員、北澤委員	
内 容	・多世代交流型コミュニティ・スクールに関する提言書(案)の内容につ	
	いて	
結 論	・多世代交流という、より多くの人が関われるコミュニティ・スクールの	
(決定した方針等)	実施を目指し、2年間の社会教育委員による学校視察や協議などの活動を	
	元に作成した提言内容の最終協議を行い、学校側に負担や押し付けになら	
	ないよう表現に配慮した上で教育委員会へ提出することを確認した。	
	・提言内容	
	事業を推進するため、情報の発信や周知、事業への相互理解、人材交流	
	について4つの提言を行う。	
	①コミュニティ・スクール事業への子どもからの意見の取入れ	
	②学校に多世代交流の場をつくること (学校カフェなど)	
	③コミュニティ・スクールの周知 (広報・啓発)	
	④コミュニティ・スクールの事業に対する理解 (研修実施など)	
	・新たな試みとして完成した提言書を教育委員・社会教育委員同席で報告	
	し、意見交換を行うことで、意識共有を図る。	
協議経過・概要	1 開 会	
	※半数以上の委員が出席のため、本会議の成立を報告	
	(全委員 12 人中、出席者 7 人)	
	2 課長あいさつ	
	3 協議事項	
	提言書(案)の内容について	
	委員長:前回の会議から事務局より提言書案の訂正をしていただいた。 	
	再度内容を確認してもらいたい。	
	事務局:前回からの変更部分について、事務局より説明(変更箇所を下線で表示)	
	がくなりり	
	 「はじめに」「社会教育委員の活動内容」「課題」「コミュニティ・	
	スクールの発展段階」「提言」それぞれ項目ごとに確認。	
	委 員 長:提言については、みんなが幸せになれるように四葉のクローバ	
	ーをイメージし、4つの項目とした。	

員:3ページ 2)事業の評価について、子どもの意見が事業に取 委 り入れられていないことを課題としているが、委員の意見の欄 にはそのことが触れられていないので「子どもの声が事業に反 映すると良い。」の意見を追記して欲しい。 委員長:提言書の最後に作成者としての委員名簿を添付して欲しい。 副委員長:5ページ(2)継続的な事業の実施の項目で自己肯定感や自己 有用感を高めることの有用性についての記載が学力のみとなっ ている。もっと様々な効果があるので、子どもにとって大切な ことであることを記載した方が良い。 員:コミュニティ・スクールを周知した効果が、「ボランティアが増 委 える」は少し飛躍していないか。ボランティアを増やすのは難 しい。 委 員:課題と提言の関係性についてはどうなっているのか、課題4に 対応した提言はないのか。 事務局:課題に対応するように提言を作成している。課題「学校の負担 感」は、提言4に対応している。コミュニティ・スクールが推 進されることで学校運営協議会が活性化し教職員の負担が軽減 される。 1つの課題に対して複数の提言項目に関係する内容もあるが事 務局として、相関関係を精査する。 員:評価についての項目が提言書の中にない。継続的な調査が統計 委 資料となっていく。 員:この提言書の評価はどうなるのか。 委員長:これは提案であるので、強制力はない。改善されていくのを委 員として見守っていく。 員:提言書で学校が負担に感じるのではないか。 委 副委員長:提言書が押しつけと捉えられないように社会教育が支えていく というメッセージを提言書に盛り込こむ。 委員長:提言書のとりまとめについては事務局に一任したい。その他意 見があれば、3月10日までに事務局へ報告してください。 提言書の提出、報告会について 事務局:令和5年3月24日の13時30分から教育長、教育委員同席で提

会議の公開・非公	■開示 □一部開示 (根拠法令等:)
開の別	□非開示 (根拠法令等:)
全部記録の有無	会議の全部記録 □有 ■無 録音テープ記録	■有 □無
担 当 課	生涯学習課(電話 53-5154、内線 2144)	

言書の提出を行う予定をしている。皆様に参加いただきたい。